

海外出張 — ローマ —

野瀬 隆平

イタリアに来て、もう2ヶ月ほど経っている。ヴェネツィアの近くにある造船所との交渉もほぼ煮詰まりつつある。しかし、これだけでは終わらない。この造船所に出資し、管理している親会社とも云うべき会社がある。製造業の会社を管理しているお役所だ。ここの交渉のため、我々はローマに拠点を移した。ヴェネツィアに続きローマである。どちらもイタリアを代表する観光地。終着駅（スタツィオーネ・テルミニ）の近くに宿を取った。

交渉の相手は会社のお役人である。話しが効率的には進まない。午前中の話し合いが終って、続きは午後ということになった。時間は3時からだという。

「え、なぜ午後一番にしてくれないの」と思うが、従うしかない。

早々に昼ご飯を終えた我々には、まだたっぷりと時間がある。初めてのこの街は行って見たい所がたくさんある。トレビの泉、コロッセオ、スペイン広場などなど観光名所には事欠かない。

午後3時から始まった交渉、5時になっても6時になってもお終いにしようとは云わない。熱心なお役人だ。7時近くになって、やっと本日はこれまでという雰囲気になってくる。

そこで、遅まきながら気が付いた。イタリア、特にローマのような南では、働く時間帯が我々の常識とは違うのだ。昼食には一旦家に帰り、家族と共にゆっくりと楽しむ。その上にシエスタと云われる昼寝をしたあとに、仕事を再開するのである。話には聞いていたが、実際に自分たちがそのペースに巻き込まれるとは思ってもいなかった。このように交渉が進められたお蔭で、幸か不幸かここローマでも観光する時間を充分持つことが出来た。

ヴェネツィアとローマでの3ヶ月にも及ぶ交渉の結果、ついに終わりが見えてきた。諸々の条件について合意に達したのである。明日は、会社の総裁が契約合意を祝って我々を食事に招待してくれるという。

これまでのイタリアでの日々を思い返しながら、終着駅近くの定宿へと向かった。